

ALS、脳梗塞患者等肢体不自由者に向けた電子文字盤の開発
株式会社デジタルリーフ

【 報告書PDF 2.4 MB 】

1. 全体の概要

一般に従来型の視線追跡型の意味伝達装置は、赤外線による反射光の角膜反射を利用するものであり、このため専用センサー機器、専用モニター機器などを用いるものであるが、弊社技術は専用機器を一切用いず、純粋なソフトウェア技術、画像解析処理により視線追跡を可能とするものであり、市販のタブレットPC機器を利用することで従来品にない安価、手軽な運用が可能である。本事業では、視線追跡精度の向上と利便性・操作性の向上を図る取り組みを行った。

2. 開発した支援機器またはシステム 意思伝達装置 R I C A N U S (リカナス)

人間の顔、顔の部位、目の形状と動きを検知する画像解析技術により、ALS、筋ジストロフィー、脳梗塞患者など、手と口を使ったコミュニケーションが困難な者がタブレットPC画面上に表示される文字ボタンを「見る」だけでメッセージ、文章が作成でき、作成したメッセージや選択したボタンの内容を電子メールにより送信することができるソフトウェア型の意味伝達システム。

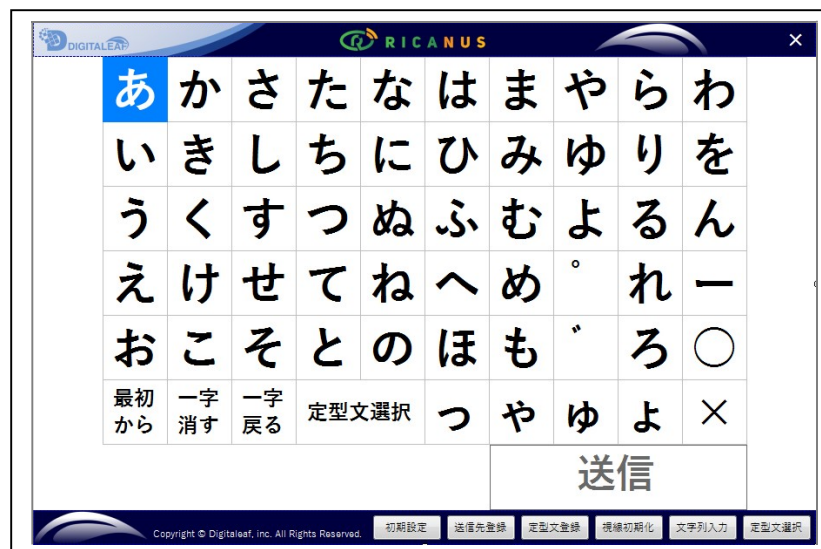


図1 製品画面イメージ